

発寒ひかり
保育園だより

2021年
3月号

巻頭言

コロナ禍の中、卒園式で何を発表するかをきりん(5歳児)さんたちが話し合い、ハンドベルと手話をすることに決めました。

練習のスタート時、ベルにしり込みしていたT君を、Kちゃんが「できるよ、できるよ」と励まし、Iちゃんは「みんなガンバロー」と激を飛ばしました。手話の練習では、毎回あやか先生に、クリスマスをお祝いする会の時と比べてどれくらい上手になったかを聞き、高得点をもらおうと、みんな「イエーイ」と小躍りして喜んでいきます。

卒園式の参加者は各家庭一名で、内容も簡素なものとなりますが、職員一同、真心を込めて当日に臨みたいと思います。

つい先日、卒園児のKちゃん(小4)から、当園に一通の手紙が届きました。「♥保育園の先生へ♥お元気ですか？私は元気です。いつも遊んでくれてありがとうございます。学校で嫌な時、いつも保育園のことを思い出すと元気が出ます。学校の漢字が難しい時、仲間はずれにされた時、いつも保育園を思い出します。もう卒園しちゃったけど、まだ保育園にいるみたいです。いままでありがとうございます。」

Kちゃんの今の学校での様子や思いの一端が垣間見えると共に、赤ちゃんから6年半過ぎた当園が、今も彼女の心の支えになっていることを知りました。Kちゃん、お手紙、本当にありがとうございました。コロナが落ち着いたら、またお兄ちゃんと「お兄さん先生、お姉さん先生」で来てくださいね。

卒園児たちにとって、当園がいつまでも心のふる里であり続けたいと願っております。

園長 吉田 行男